

知事コメント

令和4年8月4日(木)

国は、B A. 5系統を中心として感染が拡大し、医療の負荷の増大が認められる場合に地域の実情に応じて、都道府県が「B A. 5対策強化宣言」を行い住民及び事業者への協力要請または呼びかけをする取り組みを支援することを発表しました。

沖縄県では8月3日に過去最多となる6,180人の新規陽性者が確認されるなど、感染拡大の勢いは衰えていません。

圏域別では、八重山圏域においては減少していますが、沖縄本島や宮古圏域では高齢者を含めた幅広い年代で感染拡大が続いており、予断を許さない状況が続いていると認識しております。

入院者数の増加とともに、医療機関のひっ迫が続いています。県全体における病床使用率は80%以上と引き続き高く、特に沖縄本島は90%を超えるなど、入院調整が非常に困難な状況となっています。

また、施設療養者数が1,800人となり過去最多を更新する等、危機的状況が続いています。

こうした感染拡大について、沖縄県疫学・統計解析委員会の報告では、感染力を増したとされるオミクロン株のB A. 5系統が流行していること、ワクチン接種率の低さと最終接種から時間が経過していること、そして、夏休みに入り、人々の移動と交流が活発になっていることが要因とされています。

県内の病床使用率や入院患者の厳しい状況などは要件を満たしていると考えていることから、国から「B A. 5対策強化地域」として位置づけられるよう協議しているところです。

沖縄県は国から「B A. 5対策強化地域」へ指定される見込みであり、本日の対策本部会議において、感染力が高まった変異株対策として「B A. 5対策強化地域指定に伴う取組の拡充」を取りまと

めました。そのうえで、高齢者を守る対策や、イベントの感染防止、来訪者への呼びかけ等、ワクチン接種等対策の取り組みを加速させます。

まず、県では、重症化リスクの高い高齢者への感染拡大を阻止するため、高齢者施設における職員の定期検査率の向上を目指すため、抗原検査キットを配布し、検査回数を増やします。

イベントについては、引き続き、1,000人以上が参加する場合は、感染防止安全計画の対象となります。アルコールの提供を伴うイベントについては、現在の感染状況を踏まえ、開催時期の延期を検討いただくようお願いしていますが、観客の皆さまによる会場内へのアルコールの持ち込みはお控え下さい。

県では安全計画の実効性を高めるため、関係者と連携してイベント会場での見回り等を検討いたします。

観光客の皆さま、お盆で帰省される方におかれては、旅行開始前検査の徹底をお願いします。沖縄県内の医療機関はひっ迫し、受診が困難となっているため、持病のある方は日頃処方されている薬を多めに持参するとともに、旅行中無理をせず体調管理を心がけてください。

ワクチン接種については、県の広域ワクチン接種センターの他、市町村と連携しながら、積極的に商業施設等における出向き接種を推進します。

以上のような対策に加え、不要不急の外出を控えること等、これまで対処方針に盛り込まれた内容を徹底して呼びかけてまいります。

県内は来週から旧盆期間に入ります。3年振りに親戚・家族が集まって過ごすことを楽しみにされているかと思いますが、世代間交流の機会は感染拡大につながる可能性が高くなります。

今年の旧盆も、同居家族のみでお過ごしいただくようお願いいたします。

さて、今週月曜日から、厚生労働省の調整により全国の公的病院から派遣された看護師が入院待機ステーションにおいて業務にあたっており、病床が25床から75床へと増床される見込みとなっており、重点医療機関の負担軽減につながることを期待されます。

また、県看護協会の潜在看護師や知事会要請による看護師が重点医療機関に派遣され始めております。

看護師派遣にご協力頂いた、厚生労働省及び県看護協会、全国知事会、県内関係機関の皆さまに対して、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

県内では感染力の高いBA.5への置き換わりが進んでいるため、誰もが感染する可能性が非常に高く、このまま感染拡大が収まらない状況が続く場合、医療や介護はさらに危機的な状況になることを認識してください。

今一度、自らの行動を振り返り、基本的な感染対策の徹底に取り組むようお願いいたします。